

堺学講座フィールドワークが行われました。(11月16日)

11月16日(土)に「堺のまちめぐりフィールドワーク」に16名で参加させて頂きました。天候にも恵まれ、絶好の秋晴れでした。午前9時に堺市役所21階展望ロビーに参加者全員が集合したのち、本校で堺学を担当されている谷口先生の説明を聞きながら、徒歩と阪堺電車(チンチン電車)で堺の旧跡や伝統的な場所を見学しました。

開口神社には、昔堺幕府があった事、利休屋敷跡を見学して、織田信長や豊臣秀吉と深い親交があった事、与謝野晶子の生家跡を自分の足で歩いて、彼女が堺の出身だった事などを知りました。歴史の教科書で読んだ事が、実際に目の前に現れ感動の連続でした。

榎並刃物製作所では、堺の打刃物の製作現場を見せて頂きました。約1600度の火の中で焼かれた鉄の板をたたいて延ばして、刃物の形に整えていく職人技は、本当に素晴らしく感動しました。谷口先生の道中のお話が本当にわかりやすく、皆様にも大好評でした。

私は初めての参加でしたが、堺のまちが歴史的に重要な所だと改めて実感できて本当に楽しかったです。これを機会にもっと堺を知りたいくなりました。

皆様も是非一度参加なさってみて下さい。心身共に癒されてプラスの力をたくさん吸収できます。
(研修委員会委員長 井上奈緒美)



堺市内が一望できる堺市役所21階展望ロビーで谷口先生から堺の古墳についてのお話を聞きました。展望ロビーは夕陽も綺麗で穴場スポットだそうです



21階展望ロビーには千利休の茶室も復元されていました



日本最古の官道となった竹内街道は大小路から始まり、大阪と奈良を結んでいます



室町幕府崩壊後、少しの間堺幕府があったとされる開口神社の本殿



大きな鳥居をくぐると開口神社です



利休屋敷跡でボランティアの観光ガイドの方から利休にまつわるお話を聞きました



与謝野晶子生家跡で谷口先生のお話に真剣に聞き入る参加者の皆さん



1600 度にもなった鉄をたたいて延ばし、刃物の形にするまでの作業を見学させて頂きました



前日の事故で楽しみにしていた堺トラムには乗車できませんでした



協力頂いた榎並刃物製作所のスタッフの方と参加者の皆さんとの記念撮影



途中、なぜか？「カオナシ」と遭遇



トラムには乗車できませんでしたが、堺伝統産業会館前でゆるキャラの「チン電くん」と出会い、みんなで記念写真を撮りました